熊本県におけるブドウ「シャインマスカット」の短梢せん定無核栽培での特性

ブドウ「シャインマスカット」は、果皮色が黄緑色で、肉質が崩壊性で硬く、マスカット香を呈する。 1 粒重が 10 g 程度、糖度が 20%程度と高く、酸含量が 0.3g/100ml 程度と少なく食味良好で皮ごと食すことのできる二倍体のブドウである。ジベレリン、ストレプトマイシン、フルメットを利用することにより短梢せん定無核栽培が可能である。

農業研究センター果樹研究所落葉果樹研究室(担当者:加久るみ子)

研究のねらい

消費者ニーズの多様化に伴い、欧州系白ブドウ「シャインマスカット」が注目され栽培技術の確立が望まれている。そこで、「シャインマスカット」の短梢せん定無核栽培での品種特性を把握する。

研究の成果

来歴

「シャインマスカット」は、1988年に果樹試験場安芸津支場(現 果樹研究所ブドウ・カキ研究拠点)において「ブドウ安芸津 21 号」(「スチューベン」×「マスカット・オブ・アレキサンドリア」)に「白南」を交配して育成された二倍体品種である。

- 1.「巨峰」とほぼ同時期かやや遅い8月下旬~9月上旬に成熟する黄緑色のブドウである(写真1、表1)。果粒の形は短楕円で1 粒重は10 g程度である。肉質は崩壊性で果肉は硬く、マスカット香を呈し、糖度は20%程度と高くなり、酸含量は0.3 g/100 ml 程度と少なく食味が優れる(表1、表2、図1)。渋みは無い。剥皮性は「巨峰」より劣るが、皮ごと食することができる。裂果性は「巨峰」並でほとんどない。脱粒性は「巨峰」より小さい(表2)。
- 2. 樹勢は強い。開花期は「巨峰」とほぼ同時期である(表1)。やや花振るいする傾向があるが、満開時のジベレリン処理時にフルメットを加用することにより着粒安定を図ることができる(表3)。
- 3. 開花前にストレプトマイシン 200ppm を散布、または満開時のジベレリン処理にストレプトマイシン 200ppm を加用し、満開時および満開 10~15 日後にジベレリン 25ppm の花房(果房) 浸漬処理を行うことにより種なしブドウを生産することができる(データ略)。

普及上の留意点

- 1. 「シャインマスカット」は 2009 年植栽「101-14」台若木での調査結果である。
- 2. 果皮の緑色が濃いうちに収穫すると酸含量が高く食味が悪いので、食味が良くなってから収穫を開始する。
- 3. 黒とう病に弱いため、雨よけ栽培を前提とする。
- 4. 整房は花穂の先端 4cm 程度を用いる。

【具体的データ】

No. 610 (平成 25 年 5 月) 分類コード 01-10 熊本県農林水産部

表1 「シャインマスカット」と「巨峰」の開花期、収穫期および果実品質比較

年次	品種	樹齢	開花期 (月/日)	収穫始期 (月/日)	果房重 (g)	果粒重 (g)	糖度 (Brix)	酸含量 (g/100ml)	果実品質 調査日
2011	シャインマスカット	4	5/20~5/25	8/28	406	10.4	19.2	0.28	8/30
	巨峰	13	5/20~5/23	8/23	379	12.4	19.3	0.51	8/25
2012	シャインマスカット	5	5/20 ~ 5/24	8/21	430	11.1	21.5	0.32	8/28
	巨峰	14	5/20~5/22	8/18	406	14.2	19.5	0.53	8/20

注)「シャインマスカット」は開花期 GA25ppm+F 5 ppm、開花 $10\sim15$ 日後 GA25ppm(ただし、2011 年は開花期 GA25ppm+F10ppm の 1 回のみ)、「巨峰」は開花期 GA12.5ppm+F2.5ppm、開花後 $10\sim15$ 日後 GA25ppm を処理した無核栽培樹で調査

表2 「シャインマスカット」と「巨峰」の果実特性比較

	品種	果房形	着粒 密度	果粒 の形	果皮色	剥皮の 難易	裂果性	果肉 特性	果肉 硬度	香気	渋み	脱粒性
シャイ	ンマスカット	円筒	中	短楕円	黄緑	難	無	崩壊	硬	マスカット	無	中
巨	峰	円筒	中	短楕円	紫赤	中	無	中間	中	フォクシー	無	易



写真1 「シャインマスカット」の果房

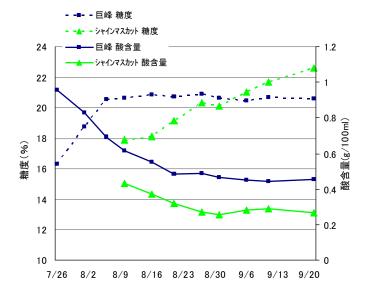


図1 「シャインマスカット」と「巨峰」の 糖度と酸含量の推移(2012年)

表3 「シャインマスカット」の開花期植調剤濃度と着粒率(2012年)

処理濃度	着蕾数	着粒数	着粒率 (%)		
GA25ppm	67.6	30.9	46.4		
GA25ppm+F5ppm	66.6	62.1	93.2		

2012年5月20日に満開~満開2日後の花房をそれぞれの溶液に浸漬処理した。

着蕾数は5月20日浸漬処理直後に、着粒率は5月31日に調査した。